

ユネスコ日本信託基金

「若手研究者フェローシップ（ユネスコ・小渕恵三フェローシップ）」選考決定者の壮行会

2019年6月20日

6月20日、大使公邸にて、ユネスコ日本信託基金「若手研究者フェローシップ（ユネスコ・小渕恵三フェローシップ）」の2018-2019年度の選考決定者のため、壮行昼食会が開催されました。

このフェローシップは、故小渕恵三元総理大臣の功績を讃え、その名を冠して設けられた研究支援プログラムです。ユネスコは日本信託基金を活用して毎年世界の気鋭の研究者に研究助成金を提供しています。

今回、キューバからはカミーラ・バルデス・レオンさんが選考され、7月下旬からカナダに於けるハイチ人移住者について現地調査を行う予定です。

壮行会では藤村大使よりバルデス・レオンさんに励ましの言葉が述べられ、これに対してバルデス・レオンさんはフェローシップに感謝すると共にしっかり研究をしてきたいとの抱負が述べられました。

この会合にはオスカル・レオン・ゴンサレス・ユネスコ国内委員会委員長、カセリーヌ・ミュレー・マリン・ユネスコ事務所長、日本大使館森田みどり書記官も出席しました。

ユネスコ・小渕恵三フェローシップは本年設立15周年を迎え、キューバからはこれまで10名の研究者が選考されています。

